

研究主題

多文化共生社会の中で 自己肯定感を高める指導の追求  
～在籍学級での学びに日本語で参加する力を育てることを通して～

1 顧問校長挨拶・部長挨拶



2 講話

○テーマ 「外国人児童生徒等の進路動向と小中学校での指導のあり方」

講師 浜松市教育委員会指導主事 江間 成昭氏

現状	課題
日本語教室や高等専修学校へ進む生徒が増え、帰国したり進路が定まっていなかったりする生徒が減ってきている。 →自分なりに進路に向かって進む生徒が増えてきている。	・日本語が分からず、授業についていけない生徒が多い。 ・公立高校の中退率が日本人の5倍(R3年度) →進路指導や、学習支援が必要



1 ロールモデルの活用(教育支援課「ロールモデル派遣事業」)

- ・ 生き方の参考になる、将来の見通しをもつヒントになる人(ロールモデル)による講和の実施

2 保護者への進路説明

- ・ 高校にかかる費用、高校へ行く意義などを説明
- ・ 「進路について語る会」の実施

3 学習支援

- ・ 考える力を育てるために考える時間を確保
- ・ 連携(学校・地域・行政)… 放課後勉強会・ステップアップクラス
- ・ 連携(担任と取り出し指導の先生)

### 3 情報交換会・質疑応答

- 中学校に進学したときに、生徒の情報がなかなか入ってこない→個別支援計画の情報更新を行い、小学校中学校で情報提供など連携を行う。
- 学習言語が理解できない現状で進路を考えていくことが難しい。



### 4 閉会の挨拶